

都市再生整備計画(第3回変更)
きらかいどうちく
綺羅街道地区

北海道 二セコ町^{ちょう}

平成18年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	ニセコ町	地区名	綺羅街道地区	面積	5.38 ha
計画期間	平成	16年度～平成	18年度	交付期間	平成	16年度～平成	18年度

目標
 大目標:ニセコ駅前周辺と観光情報の拠点地整備によるニセコ観光の賑わいの再生

目標1	ニセコ観光情報を速やかに取得させ、魅力あるニセコを知ってもらうことにより、リピータに誘導することにより、一層の地域振興を図る。
目標2	ニセコ観光資源を活かし、観光客を綺羅街道等に誘導することにより、一層の地域振興を図る。
目標3	駅前広場の整備改善により交通アクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
 ニセコ町は、観光地域が広大で、分散化しているため、観光情報を得ながらでなければ、観光を楽しむことが難しい地域である。そのため、ニセコ町では観光情報を誰もが気軽に得られるように、住民参加のもと、道の駅ニセコビュープラザを整備し、観光情報の拠点づくりを心がけてきた。

- ・中心市街地は道道の道路改良事業により、新たな観光ストリートとして整備されてきた。一方、ニセコ町の道の玄関口として「道の駅ニセコビュープラザ」、鉄道、バスの玄関口として「JRニセコ駅周辺」を整備してきたが、循環バス運行、モータリゼーションの進行等によって、観光客の行動範囲も変化しており、それに対応した駅周辺の交通結節点や街路等の基盤整備水準が低く、観光客のニーズに答え切れていない状況にある。
- ・ニセコ町総合計画において、丁寧な情報提供や交通利便性の向上、魅力的なイベント等による新たな需要喚起が基本方針として位置づけられている。
- ・綺羅街道や駅前温泉綺羅乃湯、道の駅ニセコビュープラザの整備にあたり、住民参加を心がけ、ワークショップ等を実施し、計画の内容や実施について具体的な協議・提案を行い、成果を上げている。また、綺羅街道では、住民主体で観光客の誘客やまちづくりイベントを独自に開催している。

課題
 ニセコ町での観光を楽しむには、的確な観光情報を得て移動しなければ、楽しめないため、ニセコ町としても情報拠点づくりを心がけてきたが、JRニセコ駅前広場、道の駅ニセコビュープラザでの基盤整備が遅れており、その整備が喫緊の課題となっている。

- ・ニセコ町の重要な経済基盤は観光であり、年間入り込み客数150万人前後であり、ここ数十年、横ばい傾向にあり、増加の傾向に転換させる必要がある。
- ・交通面では国道、道道、駅などの広域交通拠点としての立地条件を有しているが、駅前広場等の基盤条件が不備であり、町民や観光客のアクセス性が十分ではない。観光拠点として抜本的な交通環境の強化が必要である。
- ・道の駅ニセコビュープラザからJRニセコ駅前までの区間において、街路整備が行われているのは約半分の区間である。特に国道に面した道の駅から市街地までの区間において、街路灯などの整備が行われておらず、観光客の市街地への誘導や地域住民の安全確保に関して支障をきたしている。
- ・綺羅街道は周辺住民の合意形成により、景観に配慮した住宅デザインや街道、公園整備などを行ってきた。また、町民が主体となってニセコ花フェスタ実行委員会が植栽などを行い、観光イベントなども実施している。これらの観光情報を内外に発信し、多くの人たちが集える場所とすることが必要である。

将来ビジョン(中長期)
 “食・遊・癒”を満喫できる、個性豊かな観光エリアをつくるため、多くの人々が集う場所で気軽に観光情報を取得できるように、観光情報拠点及びその周辺の環境整備を行い、観光客の入り込み数を増加させる。

- ・ニセコ町総合計画では、丁寧な情報提供や交通利便性の向上、魅力的なイベント等による新たな需要喚起が基本方針として位置づけられている。
- ・ニセコ町基本計画においては、生活バスの活用による観光ポイントの移動手段の確保とともに、観光情報拠点の整備や便利な観光ルートの設定、丁寧な情報提供が方針とされている。

目標を定量化する指標

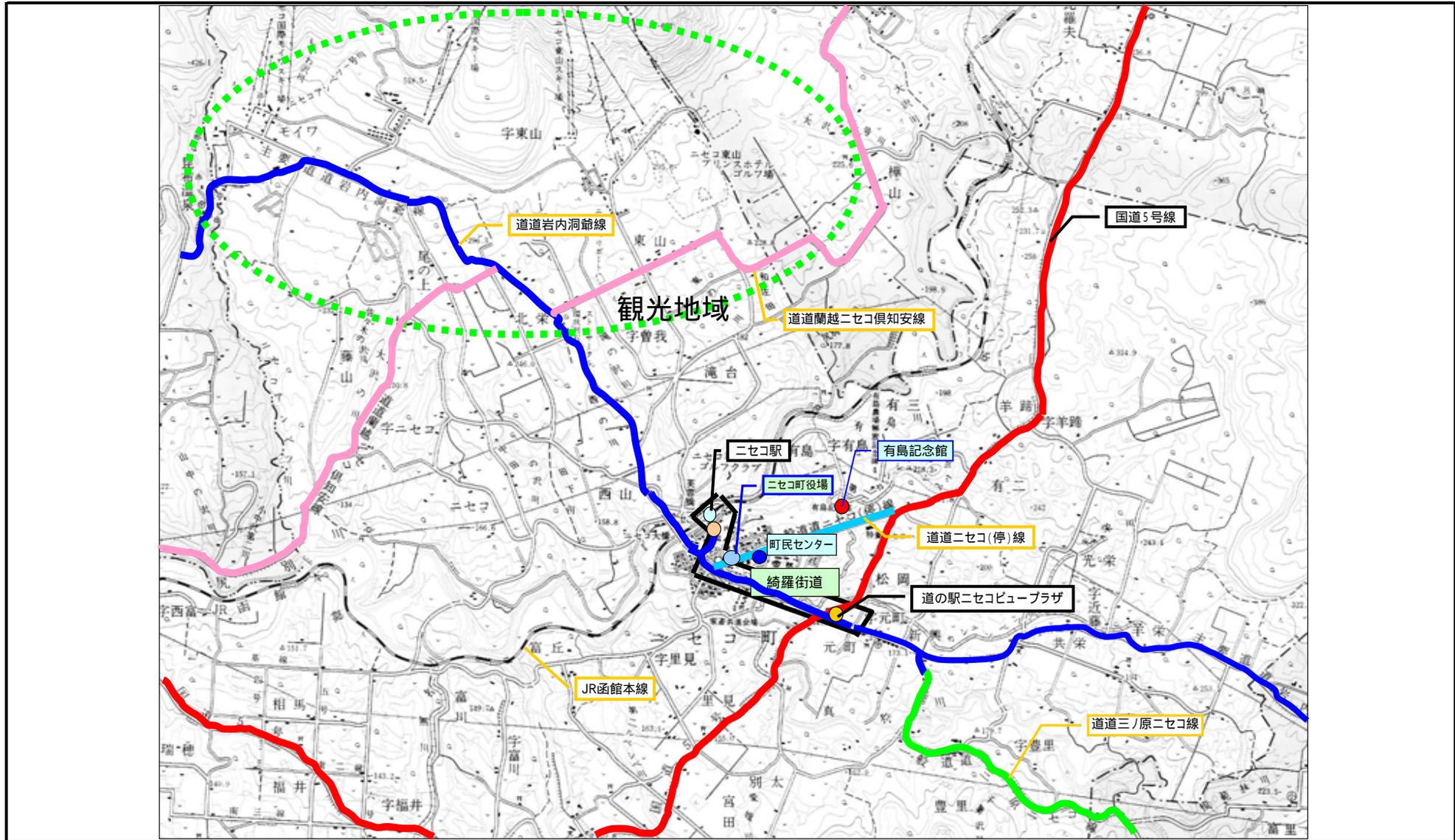
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 観光入込客数	人/年	ニセコ町全体の観光の入込み客数	観光情報拠点の整備や情報提供を行い、新たなニセコ観光の魅力をアピールし、ニセコ地域の観光ポイントや綺羅街道などへの誘客を行い、ニセコ町の入込み観光客の10%アップを目指す。	1,450,000	平成15年度	1,600,000	平成18年度
2. 綺羅街道入込客数	人/年	綺羅街道への入込み客数	きめ細やかな情報提供を行い、綺羅街道への誘客を促進させる。また、魅力ある綺羅街道として、観光客を誘客し、住民とのふれあい等を行い、賑わいが再生できるよう花フェスタ事業を支援し、当面、綺羅街道への入込み観光客の50%アップを目指す。	2,000	平成15年度	4,000	平成18年度
3. 循環バス乗車率の向上	%	町内を走る循環バス「ふれあいシャトル」の乗車率	駅前広場を整備し、循環バスの利便性を向上させる。住民だけではなく、広く観光客の利用を促進させ、綺羅街道等への移動手段に活用してもらい、乗車率の40%アップを目指す。	7	平成15年度	10	平成18年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(観光客の誘客と賑わいの再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘導の玄関口を形成するために、駅前広場を整備し、滞留や憩いの駅前空間づくりを行う。また、国道から市街地までの街路灯を整備し、既整備区間との統一を図ることで観光客の効果的な誘導と、安心して歩いて楽しむことができる観光地づくりを目指す。 ・綺羅街道への玄関口として道の駅ニセコビュープラザを整備することにより、綺羅街道で行われるイベントや事業に誘客し、観光客とのコミュニケーション空間を創造し、町民、観光客ともに交流できる空間づくりに寄与する環境を整備する。 	<p>地域生活基盤施設(基幹事業):ニセコ駅前広場、 地域生活基盤施設(基幹事業):緑地、高質空間 形成施設(基幹事業):街路灯、地域創造支援事 業(提案事業):公衆無線LAN設置事業、地域創 造支援事業(提案事業):道の駅ニセコビュープラザ機 能強化事業、まちづくり活動推進事業(提案事業) 花フェスタ支援事業</p>
<p>整備方針2(観光客への情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客等が容易に観光情報等を入手できるように道の駅ニセコビュープラザに公衆無線LANを設置する。 ・観光客に楽しんでもらうには、情報を得られる場所づくりが欠かせない。また、そのような情報拠点を立ち寄りやすい場所とすることが必要であり、立ち寄りやすい環境整備が求められている。そのため、駅前広場や道の駅ニセコビュープラザをリニューアルし、観光客にとって立ち寄りやすい場所として認識してもらう。 	<p>地域生活基盤施設(基幹事業):ニセコ駅前広場、 地域生活基盤施設(基幹事業):緑地、地域創造 支援事業(提案事業):公衆無線LAN設置事業、 地域創造支援事業(提案事業):道の駅ニセコビ ュープラザ機能強化事業、まちづくり活動推進事業(提 案事業)花フェスタ支援事業</p>
<p>整備方針3(交通環境の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の交通環境改善策として、バスロータリーを設け、不規則だった駅前広場の道路交差点の解消により交通安全性の向上を図る。 ・街路灯を整備することにより、歩行者の夜間の安全を確保する。 ・現在の駅前広場は、フラットで、観光客がバスなどの公共交通機関を利用しづらかった面があるため、利用交通機関ごとに駅前広場の機能に分け、利用者の利便性を向上させる。 	<p>地域生活基盤施設(基幹事業):ニセコ駅前広場、 高質空間形成施設(基幹事業):街路灯</p>
<p>その他</p> <p>継続的なまちづくり活動 当地域では、町民が中心となって設立したニセコ花フェスタ実行委員会がある。この会では、「地域コミュニティの再生と創造」と「地域産業のクラスター化による再生」を掲げ、コミュニケーションの育成や観光などの産業の育成に取り組んでおり、これまでに6千人以上の観光客を綺羅街道に誘客している。</p> <p>事後評価の実施について 平成18年度が当該交付金事業の完了年度となるため、ニセコ町広報広聴検討会議(まちづくり交付金評価委員会)を開催し、事後評価を行う。</p>	

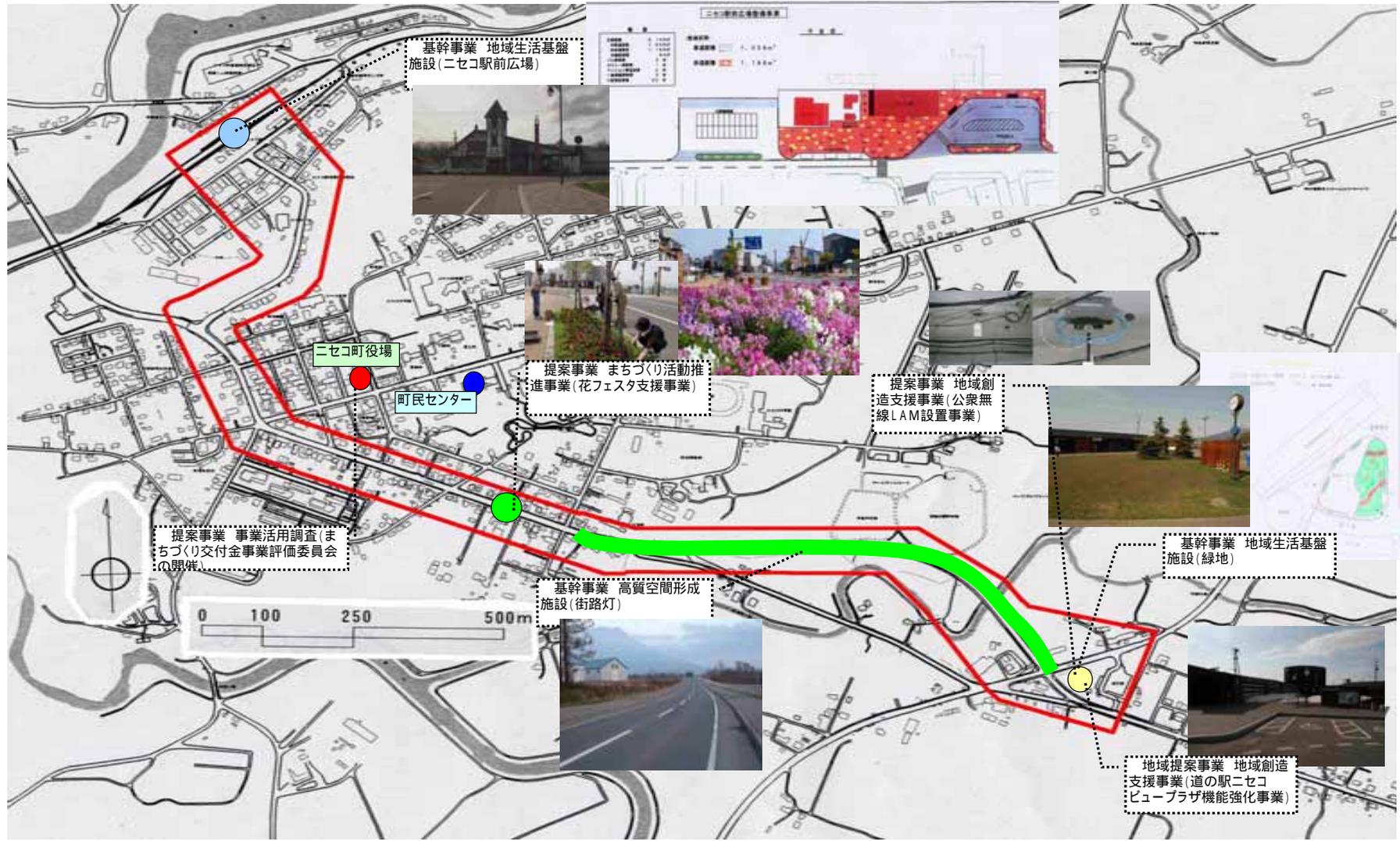
都市再生整備計画の区域(変更後)

綺羅街道地区(北海道ニセコ町)	面積 5.38 ha	区域 中央通の一部、本通の一部、元町の一部
-----------------	------------	-----------------------



綺羅街道地区(北海道ニセコ町) 整備方針概要図(変更後)

目標	ニセコ駅前周辺と観光情報の拠点地整備によるニセコ観光の賑わいの再生	代表的な指標	観光入込客数 (人/年)	1,450,000 (15年度)	1,600,000 (18年度)
			綺羅街道入込客数 (人/年)	2,000 (15年度)	4,000 (18年度)
			循環バス利用率の向上 (%)	7 (15年度)	10 (18年度)



< 整備方針概要図 >

【記入要領】

- ・「地区名」欄の()内の市町村名は、必要に応じてふりがなを振ること(特に“町”は、“まち”なのか“ちょう”なのかが明確に分かるようにすること。
- ・「目標」欄は、この計画の目標を簡潔に記入すること。
- ・「代表的な指標」欄については、代表的な指標を3つまで記入すること。記入に当たっては、下記記入例に倣うこと。

記入例) 指標が“観光客数”で、従前値が20万人(基準年度がH16年度)、目標値が30万人(目標年度がH20年度)の場合

観光客(人/年) : 200,000(H16年度)	300,000(H20年度)
---------------------------	----------------

- ・図面の作成に当たっては、図面添付欄内の【図面作成上の留意事項】に留意するとともに、提出の際には【図面作成上の留意事項】を記したボックスオブジェクトは消去すること。